

事務事業チェックシート

事務事業No 440 事業名 観光案内事業（観光案内所の設置等）

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

事業種別	継続		
事業期間	H2 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	観光課	澤本 博行	435-1234
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
中事業		観光案内事業		

1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどういう状態にするための事業か 観光客をスムーズに目的観光地へ案内したり、和歌山市の魅力ある観光スポットを紹介できるようにする。		全体事業概要 観光交流センター（わかちか広場）（開所時間、月から土8：30から19：00日・祝8：30から17：15、常時1人）、和歌山市駅（開所時間、8：30から17：00、常時1人）和歌山城の観光案内所（開所時間、9：00から17：45、常時2人）において、案内業務（史跡や名勝等への行き方、またその近くの宿泊施設等の案内など）を和歌山市観光協会に委託している。さらに、車椅子等を使用している人に対して案内窓口を低くするなどバリアフリーに努める。			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
○観光業界研修会の実施 ○観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営		○観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営	○観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営 ○JR観光案内所わかちか広場へ移転し、案内業務の充実を図る。	○観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営	○観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営	○観光案内所の運営 ○まちなか観光案内所の運営

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	14,716	14,712	14,738	14,615	17,278	16,697	13,332	13,332	13,332	
伸び率（%）	-	-	0.1%	▲0.7%	17.2%	14.2%	▲22.8%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	12,965	20,927	12,965	3,071	6,532	2,566	2,566	2,566	
	正規職員以外	375	0	375	0	0	0	0	0	
	小計	13,340	20,927	13,340	3,071	6,532	2,566	2,566	2,566	
国庫支出金							6,662		6,662	
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	14,716	14,712	14,738	14,615	17,278	16,697	6,670		6,670	
所要人数（人）	正規職員	1.74	2.75	1.74	0.39	0.82	0.32	0.32	0.32	
	正規職員以外	0.19	0.00	0.19	0.00	0.00	0	0	0	
主な予算内訳	観光案内業務委託料13,324千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 観光案内所数	箇所	目標値	3	3	3	3	3
		実績値	3	3	3		
		達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標 まちなか案内所数	箇所	目標値	25	25	25	25	25
		実績値	16	15	15		
		達成度(%)	64.0%	60.0%	60.0%		
成果指標 年間観光客数（暦年）	千人	目標値	-	6,695	6,840	6,920	7,000
		実績値	6,425	6,492	6,511		
		達成度(%)	-	97.0%	95.2%		
成果指標 観光案内所での案内人数（暦年）	件	目標値	100,000	100,000	150,000	150,000	150,000
		実績値	140,773	137,042	151,355		
		達成度(%)	104.3%	137.0%	100.9%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実		○		
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	外国人観光客に対して、外国語対応の案内をより充実する必要がある。
見直し・改善内容	外国人観光客に対応するため、南海和歌山市駅にある観光案内所に外国語の対応ができる職員を配置する。